

各報道機関 御中

下津第二中学校が『防災功労者内閣総理大臣表彰』を受賞しました！

令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰を下津第二中学校が受賞しました。

同賞は、平時における防災思想の普及の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体を内閣総理大臣が表彰するものです。

記

【概要】

(1) 海南市立下津第二中学校

- ・校長 油谷 正之（あぶらや まさゆき）
- ・生徒数 139人
- ・所在地 和歌山県海南市下津町下287-2
- ・受賞歴 第25回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞（令和3年2月）

(2) 功績の概要

海南市立下津第二中学校は、生徒がボランティア活動に積極的に取り組むことで市民性を身に付けるとともに、地域を知り、将来の災害に対応できるよう取り組んでいる。

また、東日本大震災を教訓とし、南海トラフ地震に備え、海南市や海南市教育委員会と連携して避難体制の見直しを行うとともに、これまで10年にわたり、津波避難訓練や防災学習を積み重ね、中学3年間を通じて、生徒が自ら命を守るための知識と行動力を身に付ける取組を実践している。

令和元年度には、海南市や海南市社会福祉協議会、地域住民、校区の小学生、福祉系専門職、学生、ボランティアと連携し、南海トラフ巨大地震を想定した災害ボランティア活動訓練を実施した。

また、避難生活や災害関連死、復旧・復興期の「暮らし」について学び、東日本大震災当時に小・中学生だった学生たちを全国から約50人招き、東日本大震災や南海トラフ地震について語り合うグループワークを全校生徒で実施し、成果発表を行った。

これらの取組を通じ、これまで東日本大震災を教科書で学び、「自分ごと」にし難い世代であった生徒たちは、少子高齢化や地域活性化などとともに、「災害」を複合的な地域課題の一部と捉え、生徒自身が地域の一員として災害を「自分ごと」に捉えることができるようになった。

<取組の様子>



災害ボランティア活動訓練の様子
(健康状態などの聞き取り)



中学生と大学生とのグループワーク

【お問合せ先】

海南市立下津第二中学校

☎073-492-2047